



1面 目次／外国出身者のための日本語教室＜後期日程表＞ 2面 神が宿る国ネパールのあれこれ（その2） 3面 日本で暮らす外国人紹介／異文化交流トークサロン（ネパール編） 4面 日本語教室 NOW／LADY TIFAの活動／定期開催イベント告知／新会員紹介／日本人のひとりごと

## 外国出身者のための日本語教室

2013年度後期開講日程は次の通りです

取手市国際交流協会では、日本語がわからない、話せなくて困っている外国出身者を対象に、日本語学習のお手伝いをしています。

下記の2会場で「日本語教室」を開催していますので、知り合いの外国出身者の方々に、気軽な参加を呼びかけてくださるようお願いいたします。

教室(会場)	曜日・時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月
戸頭教室 (戸頭公民館) 取手市戸頭 6-30-1	日曜日 午前10:30 ~ 12:00	6	10	1	12	2	9
		13	17	8	19	9	16
		20	24	15	26	16	
	火曜日 午後7:30 ~ 9:00	1	5	3	14	4	4
		8	12	10	21	18	11
		15	19	17	28	25	18
中央教室 (福社会館) 取手市東 1-1-5 ※市民会館隣	金曜日 午前10:00 ~ 11:30	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>6</b>	10	7	7
		<b>11</b>	<b>8</b>	<b>13</b>	17	14	14
		<b>18</b>	<b>15</b>	<b>20</b>	24	21	
		<b>25</b>	<b>22</b>		31	28	

\*中央教室：10～12月（太字斜体日）の会場は、取手図書館3階読書活動室となります。

☆受講料は無料ですが受講する方は、取手市国際交流協会の会員になっていただきます。（年会費 2,000円、学生は500円。教科書は自己負担）

☆問い合わせ先；取手市国際交流協会事務局（取手市役所秘書課内）

TEL 0297-74-2141（内線1112） FAX 0297-73-5995



## 神が宿る国ネパールのあれこれ（その2）



「人よりも神々のほうが多く住む町」といわれるカトマンズは、中世のマッラ王朝時代からネワール文化が栄え、きらびやかな寺院が数多くあります。国民の90%以上はヒンズー教ですが、チベット仏教もあり、多くはヒンズー教の寺院ですがスワヤンブナートのような仏教寺院も混在しています。

ヒンズー教徒は輪廻転生を信じて墓をつくらず、火葬した遺灰はマグマテイ川に流します。昨年9月に私の勤めていた職場の人が亡くなり、遺族から葬儀の招待状をもらったので局長たちとパシュパティナート寺院に行きました。葬儀場のゲートを入ろうとしたら私だけが守衛に呼び止められヒンズー教徒しか入れないと言われましたが、遺族からの招待状を見せて通してもらいました。葬儀場の中は20の個室がありそれぞれに遺体とその周りには遺族が取り囲んでいました。3か所の大きな集会場があり、そこで参列者はダルバート（ネパールの代表的な食事）を食べ、終わったら喪主に挨拶し三々五々散会します。日本のような焼香や読経はありません。火葬場は橋を挟んで6箇所火葬台があり川の上流は社会的地位の高い人、庶民は下流の火葬場を使います。火葬の立会いは親族だけで行い、遺灰はバグマテイ川に流されます。川下ではネパール人の婦人達が沐浴や洗濯をしていました。

ネパールは多民族国家（約50の民族）なのでそれぞれのお祭りがあります。大きな祭りのある日はカレンダーの日付が赤字になっており国民の休日ですが、その他にも地域毎に祭りがありその日も休日になるので毎月3～5日は祭り休暇です。王制から共和制に変わってからはどの民族も平等にということで毎年休日が増えています。その中でもダサインとテハールは特別に大きな祭りです。ダサインは年間で最大の秋祭りで10月の2週間にわたり祝います。この祭りの期間は日本の正月のように都会に働きに出ている人たちが一斉に故郷へ帰ります。この期間は飛行機やバスは超満員で特にバスは屋根の上にも振り落とされんばかりに乗っています。ダサインの初日は大麦の芽を女神ドルガーの恵みとして女性の髪に飾ります。最後の日に各家庭で山羊をさばき神に捧げたあと皆で食べます。ネパール人の常食であるダルバートは米、豆、野菜だけなので、山羊肉は大変なご馳走です。ダサイン中に道路を歩いているとヒマラヤの山麓から来た行商が数十匹もの山羊をひいて売り歩いています。山羊は一匹8,000円で売られておりとても高価です（ネパールの平均月給は7,500円）。このダサインの期間はカトマンズのような都市部では商店のほとんどが閉店します。私たちのような外国人はこの間を利用して海外旅行などをします。もうひとつの大きな祭りがテハールと呼ばれる収穫祭です（11月下旬）。テハールは女神ラクシュミーを家に向かい入れて家族の繁栄を祈ります。家の門や窓に花輪や豆電球を飾り、神を招きます。商店街では道路一杯に電球のイリミネーションを飾り、この日だけは停電期間でもネパール中がディズニールランドのようになります。テハールは5日間行われ、それぞれの日に特別な行事があります。第一日はカラスに、第二日目には犬に、第三日目は女神の象徴である雌牛にごちそうを食べさせます。犬や牛は花輪を首に飾ってもらいます。4日と5日目は各家庭で床に赤、黄、白の粉でマンダラを描き長寿を祈りご馳走を食べます。

（続く）

（交流部会 小田島満哉）

私は中国出身の陸 菁(りく せい)です。2004 年に来日し、取手市に住んでいます。日本語検定は1級ですが、まだまだ勉強中です。現在、手話を習っており、将来はボランティア活動に役立てたいと思います。夏に体験した浴衣の着付け講座に参加しての感想を纏めてみました。

私にとって日本の夏と言えば、花火大会、夏祭りと浴衣を着ているしとやかな日本女性を思い浮かべます。自分も浴衣を着たらどうなるかなあと考えたことがあります。

七月の着付け講座で忘れられないデビューとなりました。着付けの先生は下着、腰紐、帯板、伊達帯などを詳しく紹介しながら、着方を教えて下さいました。着付けが終わり、隣のプラチさん、鏡の前に立っている自分を見て私の目は丸くなりました。とてもよく似合っているではありませんか。いつもと違う自分がいることに気づきました。また浴衣のたたみ方、いろいろな帯の結び方を教わり、たった一本の帯で沢山の可愛い、綺麗な結び方ができるのに驚きました。浴衣の楽しみ方に出会え、日本伝統の素晴らしさに感動しました。

夏の風物詩、 浴衣を着て素敵なのはあなた、 楽しめるのが私。

(日本語教室部会 陸 菁)



陸菁さん(中国)

プラチさん(インド)

### 異文化交流トークサロン

## 神が宿る国 ネパール

9月28日(土)福祉交流センター会議室において、交流部会主催の異文化交流トークサロンを開催しました。今回の講師は、JICA から2011年から2年間ネパールに派遣され、協同組合について指導してきました取手市下高井にお住まいの小田島満哉氏に講演をして頂きました。

今回の講演内容は、小田島氏と奥様が滞在していたネパール(正式名:ネパール連邦民主共和国)の状況を、スライド使って分かりやすく説明して頂きました。

ネパールは東南アジアで最も貧しい国の一つといわれています。鉱物資源はなく、電力事情も悪いため工業は全く育っていません。収入は農業と観光収入、海外への出稼ぎによる仕送りだけです。政府は協同組合の強化によって国民の貧困を解消しようとしています。特に小田島氏が派遣された農業協同組合には力を入れているそうです。小田島氏がネパールで住んでいたカトマンズ市では電気が使用できる時間は、1日7時間程度と聞いて、日本の生活に慣れている我々では非常に不便を感じると思いました。従って、電気製品(テレビ、冷蔵庫等)の普及率は非常に低いようです。

それから、道路には信号が無く、交通事故は多発しており、家には番地が付いていないため、郵便物は中央郵便局に取りに行かなければならないなど、TV、新聞では入らない情報を沢山教えてもらいました。日本の数十年前の状況がまだ沢山残っているようですが、ネパールの生活を体験して、現在の日本を反省することも多々あったそうです。

講演会の後で行った、質疑応答(雑談会)は非常に盛り上がり、今回の異文化トークサロンは大成功でした。

(交流部会 萩原 義夫)





私とマイケルさんは、日本語教室部会の中央教室で教え手と学習者の関係です。プライベートは別として、長い付き合いで判った人となりをお話ししてみます。

○月×日 授業風景。「動詞の、住みます、来ます、乗ります、の勉強をしましたね。マイケルさんはどこに住んでいますか。」「はい、坂東市に住んでいます。自転車に乗って来ます。2時間半かかります。」**私の独り言**。「坂東から、自転車で2時間半もかけて、雨や雪の日でも来るんだよね。よく頑張ってるね。」教室を休む時は必ず連絡をくれます。**私の独り言**。「誠実な人柄なんだよね。」又、寛大で、判らないと「すみません。判りません。」と言って人のせいにはしません。

**私の独り言**。「もっと判りやすい授業にしないきゃあ。」授業が終わると、マイケルさんは「とても楽しかったです。ありがとうございました。」と笑顔で言ってくれます。**私の独り言**「授業は、学習者が教室へ来るのが楽しみになるくらい面白くてたまらないものにしていかなければ。」

「マイケルさんこれから先も、日本語が聞けて、話せて、読めて、書けるようにガンバリましょうね。」



(日本語教室部会 浅井康男)



## LADY TIFA の活動

Lady TIFA のメンバーが利根川土手にコスモスロードを作る活動に参加しました。7月に種まきをしたコスモスが9月には写真のような美しい花を咲かせています。会員の皆様是非一度足を運んで見てください。(交流部会 大日向美由紀)

### 定期開催イベント告知

#### ① TCS (Toride Chat Square)

10月6日(日)、11月17日(日)

場所・福祉交流センター

時間・13:30~15:30

#### ②外国人のための無料相談会

10月20日(日)、11月17日(日)

場所・市民活動支援センター

時間・13:00~15:30

#### 新会員紹介(敬称略)

■ 境 ブルーナ  
 ■ ウエダ・レジス・アルベルト  
 ■ ウエダ・アナマリア・コスタ  
 ■ イシダ・ライサ・ロシアネ  
 ■ ロシャヴェルネッキ・ベルナルド  
 ■ ダン・ツー・ハン  
 ■ ファン・チー・ホン・タム

#### 日本人のひとりごと

先日、2020年のオリンピック、パラリンピックの開催都市が東京に決定しました。この招致活動に尽力した関係者の皆様に敬意を表します。日本国民はもとより、世界中の人々に感動を与えるようなオリンピックにしたいものです。又、東京に来る世界各国の選手、観客、観光客を日本人の「お・も・て・な・し」の心で迎えましょう。

連絡先：取手市国際交流協会事務局 取手市役所秘書課内

TEL:0297-74-2141 内線 1112

FAX:0297-73-5995

E-Mail:hisho@city.toride.ibaraki.jp ホームページ:http://www.tifa-japan.com